SL Sherrill-Lubinski®
Newsletter
May 2024
No. 78

通研電気工業が、受電設備監視操作盤からの情報を遠隔監視できるようにした新しい「簡易型監視システム」の開発で、RTViewを採用

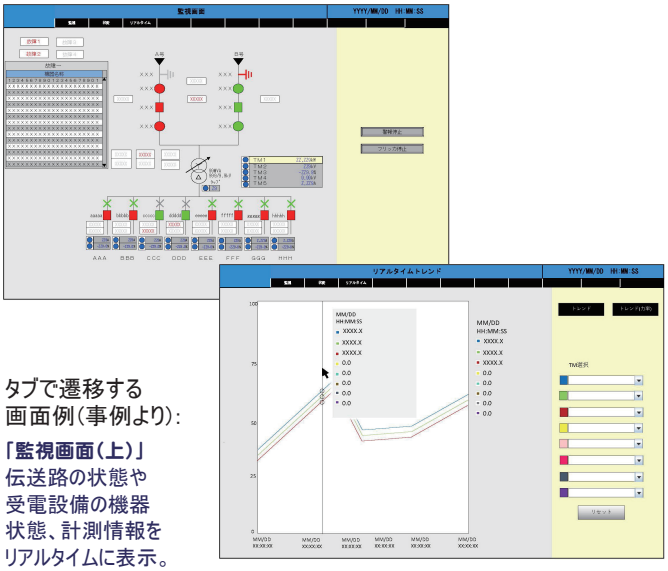
ビルダーでカスタム構築したグラフィック表示操作画面を、RTViewのディスプレイサーバ機能でWebブラウザ運用

2024年4月16日 ニュースリリースより

SLジャパンは、東北電力企業グループの通研電気工業株式会社（以下「通研」）が、新しい「簡易型監視システム（以下「本システム」）」の開発で、米国SL社製のRTViewを使用していることを発表しました。

通研は、発電所や受電所の電気設備を監視制御するシステムのソフトウェア開発も手掛けており、今回新たに開発された「簡易型監視システム」のグラフィックな表示操作画面の構築に、RTViewが使用されています。本システムは、既存の受電設備監視操作盤からの情報を、Webブラウザで遠隔監視できるようにしたものです。

本システムでは、ビルダーで対話的にカスタム構築した高対話性のグラフィック監視画面は、RTViewの「ディスプレイサーバ」機能を活用し、ローカル運用同等の高性能さでブラウザ運用されています。監視用サーバのモニタおよび遠方に設置した監視用クライアント端末では、グラフィック系統図やリアルタイムトレンドグラフ画面などを表示して、操作を行います。また、装置の故障や伝送路の異常が発生した場合は、積層信号灯の点灯および警報器の発報により、ユーザに知らせます。



タブで遷移する画面例（事例より）：

「監視画面（上）」
伝送路の状態や受電設備の機器状態、計測情報をリアルタイムに表示。
異常検出時は異常情報をアラート表示。確認後に警報とフリッカを停止するための「警報停止」と「フリッカ停止」ボタンを実装。

「リアルタイムトレンド画面（下）」 受電設備の計測情報（TM =テレメータ）を選択し、トレンドグラフでリアルタイムな数値データを表示。

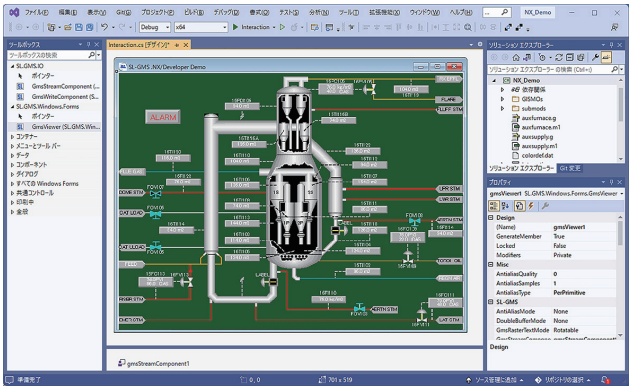
☆ニュースリリース全文はこちら:
https://www.sl-j.co.jp/newsevents/newsrelease/2024/slj_news_240416.shtml

SL-GMS .NX/Developerと.NX/Custom Editor 新バージョン2.0aで.NET 8に対応

制御室からWebによる遠隔監視、クラウド運用ダッシュボードまでのSL-GMSフルラインアップにおける「次世代監視制御システム（DCS/SCADA）」の開発

2024年2月13日 ニュースリリースより

SLジャパンは、監視制御システム（DCS/SCADA）のダイナミックGUI/HMIならびに固有カスタムエディタを開発するための専用ツールとして長年の実績を誇るSL-GMS（C++, Java, .NET Framework, HTML5）ラインアップに追加された.NET 6版のSL-GMS .NX/Developerと.NX/Custom Editor新製品の新しいバージョン2.0aをリリースし、.NET 8に対応しました。



.NET 8のVisual Studio 2022を使って、SL-GMSDrawで作成したグラフィック画面のアプリケーションを開発

他のSL-GMS製品と同じSL-GMSDrawエディタを使い、さまざまな動的属性を持ったグラフィックモデルをアプリケーションから独立して対話的に作成し、すぐにその動的振舞いをエディタ内で確認できます。さらに、コンテンツリッチで高対話性ながらもコンパクトで高速なSL-GMSでは、制御室と同じグラフィック監視画面をリモートデスクトップ運用またはWeb運用の複数選択肢を用意しており、ローカル運用と同等の高い性能で、異種OSパソコンの他、スマートフォンやタブレットなど幅広い端末からアクセスして操作できます。

今回のSL-GMS .NX新バージョン2.0aは、マイクロソフト社が次の長期サポート（LTS）バージョンとして昨年末にリリースしたばかりの新しい.NET 8に対応したものです。さらに、従来のSHIFT-JISに代わりUTF-8をサポートしています。

☆ニュースリリース全文はこちら: https://www.sl-j.co.jp/newsevents/newsrelease/2024/slj_news_240213.shtml

オートメーションと計測の先端技術総合展「IIFES 2024 ONLINE」に出展（報告）

SL-GMS（C++, Java, .NET, HTML5）で、中央制御室から、Webで遠隔監視、クラウド運用ダッシュボードまで

SLジャパンは、去る1月31日（水）～2月16日（金）に開催された、オートメーションと計測の先端技術総合展におけるオンライン展である「IIFES 2024 ONLINE」に出展しました。また、開催中に.NET 8に対応したSL-GMS .NX/Developerと.NX/Custom Editor新バージョン2.0aのニュースをリリースしました（表面記事）。

■ IIFES 2024 ONLINE デモビデオ（音声なし 4分31秒）より：

SL-GMS（SL社製グラフィカルモデリングシステム）は、高度な監視制御システムのダイナミックGUI/HMIとシステム固有のカスタムエディタを開発するためのツールをフルラインアップ（C++, Java, .NET Framework, HTML5, .NET 6/.NET 8）で提供しています。共通のSL-GMSDrawダイナミックグラフィックエディタにより、UNIXからLinux, Windowsへ、C/C++からActiveX, Java, .NETへ、そして64 bitネイティブ化で、ライフサイクルが10年前後におよぶ制御システムの最も容易な開発と移行を長年支え続けてきました。

2020年9月には待望のHTML5対応新製品を投入し、中央制御室からWebで遠隔監視、クラウド運用の監視ダッシュボードまでを提供。続いて2022年5月には、最初の長期サポート（LTS）版であるマイクロソフト社の.NET 6にいち早く対応したSL-GMS .NX新製品をリリースし、次世代の制御システム開発に対応することで、フルラインアップをさらに強化しました。

モノの監視"Monitoring of Things"を専門としてきたSLの突出した可視化技術によって、デスクトップ運用で開発した同じコンテンツリッチで高対話性のコンパクトなSL-GMS操作画面を、ローカル運用と同様、比類なく高速にWeb/リモート運用できます。

クラウド運用の監視ダッシュボード

HTML5に変換してWeb運用できるSL-GMS Web/Developer

SLジャパン設立記念日で振替休業のご案内

SLジャパンは、2024年6月5日に設立26周年を迎えます。

これもひとえに、これまでご支援くださいましたユーザ様ならびにお取引先様のおかげと、心よりお礼申し上げます。

米国SL（Sherrill-Lubinski）は、1983年以来40年にわたって、リアルタイムデータのグラフィックな可視化と監視に全力を注いできた専門メーカーです。

日本では1991年に代理店販売を通じて創業して以来、SLの可視化とエディタ技術は大手各社様のDCS/SCADA製品やソリューションに組み込まれ、浄水場・焼却炉、発電所・変電所、空港・鉄道・道路、宇宙・防衛、工場・ビル、オペレーション/データセンターなど、さまざまな暮らしの身近なところで日々稼働し続けてきました。

そして、2011年の東日本大震災義援金寄付以降、毎年利益の一部から日本赤十字社への寄付活動を続けています。

創立100周年以上のお客様が多い中で、まだまだ若年ではありますが、みなさまのご期待に添えますよう、引き続き業務に一所懸命取り組んでまいりますので、より一層のお引き立て、ご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

☆設立記念日で振替休業のご案内：2024年6月3日（月）

Real-Time Visibility

年3回発行　2024年5月27日発行　通巻78号

株式会社 SL ジャパン
〒107-0061　東京都港区北青山2-12-8　BIZ SMART 青山
Tel. 03-3423-6051　info@sl-j.co.jp　**www.sl-j.co.jp**

◆記載される会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。
◆記載内容は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
◆記載事項の一部または全部の無断転載を禁じます。